

あなたもお読みください
真実つたえ希望はこぶ

しんぶん 赤旗

日刊 1カ月 3,497円
日曜版1カ月 823円

手良民報

生活相談はお気軽に
電話 78-0943 (高橋)
08051428896 (大場美広)

〈毎月赤旗読者に配達〉

〈民報のみは月100円〉
発行 日本共産党・手良支部

支所祭に388名が受診

医療生協街角健康チェック

上伊那医療生協の街角健康チェックは10月25日、JA上伊那手良支所祭に営農経済課事務所で行い支所祭に来た人のうち388名が受診しました。

血圧測定、体脂肪計による検査(体脂肪・内臓脂肪・体年齢など測定)、骨密度測定を行い、その後検査の結果をもとに一人ひとりに親切にわかりやすく健康指導を行いました。



街角健康チェック

よしひろ通信 ⑨

今ならまだ勝てる解散って何??

政界の噂では囁かれています。たけれど、まさか本場に衆議院を解散して総選挙をやるとは、驚くばかりです。

消費税を10%に引き上げるのを先延ばしにするに当たって、「国民に信を問う」などと、もっともらしいことが良く言えたものだと呆れてしまいます。

消費税の引き上げ、原発再稼働、秘密保護法施行・集団的自衛権行使、沖縄辺野古への米軍基地建設・全国各地へのオスプレイ機配備など、国民の命と暮らし

の安全・安心を脅かす暴走を繰り返す安倍自公政権にこの国のかじ取りを任せてはけません。それなのに、見出しの様な「今ならまだ勝てる…」など、むざむざと許してなるものか。相手から仕掛けられた選挙ですが、国民の思いで悪政を覆す絶好のチャンスが無駄にはできません。だいたい、消費税を何時上げるかが争点などと言うこと自体が変だと思いませんか。今の日本は、大企業が280兆円にも上る内部留保を抱えるかたわらで、働く者の権利が奪われ、貧富の格差はますます拡大しています。

逆累進課税(低所得者ほど所得に対する負担率が高い)消費税をさらに引き上げ、大企業の利益にかかる法人税を引き下げるなど、やろうとしていることが全くアベコベではないですか。こういう政治の根底にあるのが、大企業から自民党の政治家に流れている政治献金です。お金をくれる人のために働くのは「道理」だと思いませんか。さらに国民の血税から奪い取っている政党助成金を使って金権腐敗政治を繰り返す。会費を大きく超えた接待を受けたら、うちわやカレンダーを配られたりしたくらいで大事な一票を売

目を引く作品もあって 地区文化祭

手良地区文化祭が10月25日(土)から26日(日)の午前中まで手良公民館で行われ2日間で昨年より百名弱少ない二百数十名が訪れました。講堂の会場は圧迫感がないよう、また人の顔が見えるように仕切りをなくしレイアウトを変えました。わいわいクラブ、保育園、小学生の作品もありました。出品作品は昨年より100点ほど少なくなっていますが目を引きく作品、力作もたくさんあり渡してはいけないと思います。

野口高齢者クラブのコーナー、中坪の歩み研究委員会の月刊紙「中坪の歩み」の掲示、シュガーパインの苗などを水苔で包んだ16人による17点のハツ手グルーブの苔台、下手良の14人による造花の花を寄せたアーティフィシャルフラワー、大きな地蜂の巣6点、大菊の三本仕立て、郷之坪の婦人常会「美郷の会」によるいろいろな素材に好きなペーパーナフキンを貼るデコナフキ、手良絵手紙の会「ふきぼこ」の7名による手良の四季「お名月様」など、中坪田屋常会女性7



大場美広



里山に登る会



ヨーヨーつり

名による牛乳パックの椅子と日本手拭い帽子、菊・コスモスなどが満開の手良坂花壇の写真、「手良里山に登る会」の秋のデコレーション、手良歌祭の色紙・短冊などでした。今年も賑やかに JA上伊那手良支所祭 JA上伊那手良支所祭は10月25日に開催され秋晴れの天気の中約600名が参加し何時も静かな農協もこの日は熱気に包まれました。小学生の太鼓、保育園児のダンスは元気に雰囲気盛り上げました。小学生や保育園児の書道・絵画作品展もありました。また、子供たちはJA青壮年部のふれあい動物コーナーやポックリコーン、ヨーヨーつり、昔懐かしいお手玉遊びなどで楽しみました。食卓・テント村のうどん・そば・豚汁サーブなども好評でした。福入餅投げはみな我を忘れて夢中で拾いました。年一回手良全域から参加する唯一のお祭は子供からお年寄りまで様々な人が集まりました。

てらのさと 上伊那医療生協では地域のみなさんの健康を守るため健康チェックの班会を行っている。手良でも組合員に係わらず地域のみなさんに呼びかけて行っている▼集会所など借りて今年4月から8箇所で行い86人の方が参加してくれた。JA手良支所祭にも街角健康チェックということで行い388名が受診した▼検査の内容は血圧測定、体脂肪計(BBC)による体脂肪、内臓脂肪・体年齢などの測定、骨密度測定、尿・便の検査である。尿・便の検査は今までは単に出来るいいものがある。塩分の検査は他ではあまりやっていないので貴重である▼便秘チェックではこの検査で異常を発見し早期に発見できたので大事に至らなかった例もある▼今ほどこの医者でも検査をよくやるので健康チェックに誘っていただく例が多い。牛乳の健康チェックはみんなで気楽にでき検査の結果についてもアドバイスがありその後みんなが気楽に話し合いが出来るので自分の体調について関心を持つことが出来、みんなから健康についての知恵ももらえる。お互いに聞くことも出来る。もちろん、無料であり担当する者はボランティアある▼気楽に参加してみよう。(T)

今年最後の落語で 四者共催講演会

公民館、小学校PTA、活性化促進会議、子ども会育成会共催の講演会は11月8日土曜日の午後、手良小学校体育館で行われ小学生と父母、地区民が大勢参加しました。

講師は駒ヶ根市出身の落語家、春風亭愛嬌師匠。伊那北高校の卒業ということと同窓会手良支部の講師の斡旋もあり、支部長から講師の紹介とあいさつがありました。

バックに恐竜の幕が張られた舞台の座布団へ早足で来て座った師匠は最初に生徒に質問をしました。

生活雑記 128

老婆と相撲

小松利江

舞の海がデビューした場所から相撲を見るのが楽しみにになった。土俵際の勝負の時には後ろから支えてやりたいほど真剣に応援した頃がなつかしい。

力士には似合わない容姿に憧れたり、次々に珍しい技を生み出してファンを喜ばし場所を盛り上げてくれた。職場では「舞子ちゃん」というニックネームで応援

童の幕は何かなどの質問がありそれに応える形で師匠の半生を振り返って思いを話されました。

小学校の時に本を読むのを褒められたことが落語家になるきっかけになったことから褒め合うことが大事なこと、落語家になるについても多くの人が助けられ、後の恐竜の幕もヒックになれと友人や知人に作ってもらったこと、夢はみんなに助けてもらって実現する、頼られたら助けてあげようなどと話されました。

そして〇ほ・ほめること
〇め・目をみる〇あ・あいさつ〇え・えがお〇た・たすけあい・たよる が大事であること述べられました。

また、落語の扇子などの小道具が言葉だけでなくくさむも表すことを説明し、していたりして。

最近では遠藤、勢力士の格好良さに惚惚している。やっぱりの国産力士は素敵だ、日本人らしい美貌を兼ね添えている、頑張れ、頑張れと応援しているのに中々勝敗は厳しい。勝ち越してよ、勝ち越してと場所の度に祈るような日々が続く。

小咄の幾つかを披露しました。最後に頓珍漢な言動ばかりしている与太郎を主人公にした古典落語「牛ほめ」を本格的に演じ拍手を受けました。



春風亭愛嬌師匠

300句集まる 井上井月を偲ぶ句会

「井上井月を偲ぶ句会」は秋祭りに向けて俳句を募集し手良全域より300句が集まりました。

提出した句は、6日の中坪の秋祭りの八幡社の境内に、大きな箱灯籠に掲示され、5日の夜は灯りを点けて祭りの雰囲気を感じることができました。

辰野横川方面へ 今年最後の野草教室

手良公民館主催の今年最後の野草教室は11月4日に辰野町の横川・勝弦・しだれ栗へ行きました。いろいろな都台で参加者は定員20名のところ15名でしたが天気もよく横川溪谷の紅葉も丁度良く、蛇石もきれいに見えました。

内には、大きな箱灯籠に掲示され、5日の夜は灯りを点けて祭りの雰囲気を感じることができました。

俳句は手良公民館の玄関前にしばしば置かれます。春日愚良子さんの選んだ句は「ごほんおいしい句い広がりて 菅野緑郎 赤とんぼ帽子にとまるなつあわたけの初どり汁に投げ込みぬ 向山ヒロ子 おみこしを追うて流れる鱸雲 向山よね子 明き夜の月と角田の蕎麦の花 宮原達明

蛇石は粘板岩に変成岩の層が貫入してできた珍しい岩で、白いシマが長々と川底に横たわっている様は、大蛇のような姿に見えることからそう呼ばれています。

賑やかに楽しく ハツ手高齢者の会

今月の例会は10月31日に行われ20人が参加しました。

上伊那医療生協の職員により健康チェックと健康体操を行いました。また、朗読劇「物語らるるのち」のDVDを観ました。この朗読劇は人々にはそれぞれ生き方や尊厳・生きてきた歴史など物語られる命があり、脳梗塞や心筋梗塞などで倒れて余命いくばくもないう状態になった時に物語られるのちに「命治療」を考えるかについて描かれています。

この日はたくさんの方々が参加して皆さん慣れた笑顔で賑やかに楽しく出来ました。

中坪公民館で絵手紙教室やっています

連絡先 高橋 7810943

向山智恵子

伊那市では資源のリユース(再利用)と可燃ごみとその処理費用を減少させようと家庭で不用になった衣類の回収を行っています。

今年手良の2回目は10月26日に手良公民館の場所で開催しました。1回目の7月6日は伊那市全体では16,050kg、今回の2回目は18,030kgが回収されました。

昨年度は43,890kg回収し、古着としてリユース(再利用)したウエス(機械類の汚れを拭き取るばろきれ)としてリユース(再利用)した繊維としてリサイクル(30%)した。回収業者は入札により今回は1kg21.6円の手数料でキタニ(株)に委託されました。回収されたものは海外で演歌体操も上手になったので、来年の敬老会には余興にどうかしら、と思っ



健康体操は先生のユーモアにつられて、あはは、あははと笑いの体操も入って面白くおかしくて楽しく、皆さんはとて熱心

俳句 干し大根 小松利江
行く秋を肌を感じるけさの霜
秋ふかしうた寝の夢彼(夫)帰る
熱燗の喉にしみる秋夜長
漬けごろを曲がりためす干し大根
横に舞う雪にあわせて蟹歩き

「おねがい」
身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思えます。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。
七八一〇九四三 高橋

「吟行」行われる
井上井月を偲ぶ句会

井上井月を偲ぶ句会と手良公民館共催の「吟行」は18日の午後笠原の二公道の堤で行われ、いろいろな都合がありいつもより少ない5名が参加しました。

この日は「二公道の堤」は水を深く湛え、鴨が水面を静かに泳いでいました。桜紅葉はまだ時期が早かったのですが野紺菊が夏の思いを留めるように咲いていました。

堤の廻りを散策して想を練り近々の集会所でそれぞれ3句をまとめました。

その後選句をして選者の春日愚良子先生から評を聞きました。先生からはやはり物をよく見て創るといっ句が出来るなど指導をうけました。その後の宴は先生を囲んで和やかに行われました。当日の俳句は

午後の陽を受けて動かぬ秋
とんぼ 高橋さんよ
秋の午後西陽の中に蝶舞ひぬ
踏みしめる吟行の径草紅葉
秋陽受け光る湖面上鳥遊ぶ
魚の形たちまちくすれ秋の雲
吟行の様子は一長野日報にも掲載されました。

吟行 集会所で